

APPLICATION
申請 編



家 が被災したら、災害発生日の翌日から90日以内に申請。役場職員が調査し、罹災証明を発行します。調査前に片付けたり修理する場合は、被害状況の写真を撮っておきましょう。流れついた他人の財産も、トラブル防止のため処分前に写真を撮影。



火 災保険は、火災だけでなく、地震以外の様々な自然災害でも補償を受けられることが多く、特約で落雷、水漏れ、洪水、土砂崩れ、台風が補償対象になることも。ご自身の火災保険の内容を確認してみましょう。

罹災証明は申請が必要
申請編

火災保険を確認しておこう
申請編

福智町防災講演会

3年ぶりに開催
自分の命は自分で守る「攻めの防災」

災害は、備えがあるかどうかで、生死が分かれることもあります。講演会に参加し、自分に、家族に、地域に必要な備えとは何か——一緒に考えませんか？

日時 **6月26日** 日
10:00 開演

場所 **福智町地域交流センター**
(伊方4478番地1)

演題

「地域に必要な備えとは!?
——自ら備える攻めの防災」

講師

株式会社かんがえる防災
代表取締役

高木 敏行氏

※新型コロナウイルスの状況で中止になる場合があります。



CLEAN UP
片付け 編



床 下浸水とは、床上浸水に至らない程度に浸水した状態。床下には配管や断熱材などがあるので、さびやカビが発生し、木材が腐る原因になります。床下に入った泥や汚水をかき出し、扇風機などで乾燥させ、床板を戻してから、床上の掃除、乾燥、消毒を。



腐 った床板を踏み抜かないよう注意。濡れた畳や布団は時間が経つと悪臭を放ちます。断熱材が濡れると交換が必要。床は清潔な水で汚れを落とし、完全に乾かしてから消毒液で拭く。消毒は、汚れや石鹸が残っていたり濡れていると十分な効果が出ません。壁や家財の消毒は逆性石けんなどで。



電 器、ガスは業者の点検後に使用。水道は流してから使う。自動車、農機具はエンジンをかけずに修理工場に相談。携帯電話はSIM、SDカードを外して乾燥後携帯ショップに相談。食器は洗って塩素系漂白剤で消毒。井戸水は水質検査後に使用。庭木や家の外壁は水で泥を洗い流す。



床下浸水は事後処理も抜かりなく
片付け編

水害の後始末(屋内)
片付け編

水害の後始末(いろいろ)
片付け編

CAR
車 編



帰 宅できなくなり、野宿することになったら? けが人を救助することになったら? いざという時のために、車の中にも防災グッズを積んでおきたいもの。ジャッキ、ロープ、バール、脱出用ハンマー、寝袋、水とおやつ(渋滞対策にも)、ハザードマップ、大きめのカップ、スニーカー、懐中電灯などを。



避 難中に水没するケースは後を絶ちません。水害時の車での避難はとても危険なので、できるだけ避けましょう。水深10cmでブレーキが利きにくくなり、30cmでエンジン停止。50cmで車体が浮き上がり、流され始めます。この段階になると、水圧でドアも窓も開かなくなるので脱出も困難になります。



水 没する前に避難するのがベストですが、車が流され始めたら、ドアや窓が開けば屋根に登ります。開かなければ脱出用ハンマーでサイドガラスの四隅を割って脱出。ハンマーがない場合、車内に水が入ってくるのを冷静に待ちましょう。車の内外の水位が等しくなると、水圧も等しくなりドアが開きやすくなるので、一気にドアを押し開けましょう。

車に積んでおきたい防災グッズ
車編

水害発生。車で避難して良い?
車編

車が水没。脱出方法は?
車編

\いざという時役に立つ/
防災豆知識

10 選

知っておくと、災害時のいざという時、あなたやあなたの大切な人を助けてくれるかも知れない情報や、役に立つ情報を紹介します。

PREPARATION
準備 編

携 帯電話、乾電池式充電器、懐中電灯、ヘッドライト、飲料水、非常食、非常用トイレも準備、常備薬も忘れずに、非常用持出袋をチェック。フィッシングベストはポケットがたくさんあり撥水加工で両手が空くので災害時に重宝。水害時、長靴は水が入ると動けなくなるので、スニーカーで避難。



台風接近、停電、断水に備える(屋内)
準備編

雨 どい、雨ます、水路を掃除。石垣のひび割れは補強。地割れや崩れている崖などはシートで覆う。窓や雨戸などはしっかりと鍵をかけ、必要なら外から板などで補強。小さな犬小屋、植木鉢は屋内に。プロパンガスなどは固定しておく。浸水が心配な場所は土のうや水のうを準備しておく。



台風接近、停電、断水に備える(屋外)
準備編